



10月30日、『NHKのど自慢』生放送前に
あいさつをする栗市長

ごあいさつ

平成28年11月4日

菊花香る11月3日、市表彰並びに市教育委員会表彰贈呈式と、市文化協会・体育協会表彰贈呈式が行われました。永年、それぞれの分野でご功績をあげられ、市勢発展のために尽くされた皆さん、誠におめでとうございます。

当日の天候はアラレも混じる雨模様でした。野々市ではお祝い事ときには雨が降るのかなあと、市制施行した平成23年11月11日のことを思い出しました。

十日ほど前から、新聞などをみながら、「その日」はぜひとも晴れてほしいという願いもむなしく、朝から雨で、市役所前で傘をさしたままの市制スタートとなってしまいました。市制施行記念式典で姉妹都市提携をしているニュージーランドのギズボーン市メイ・フーン市長に「ギズボーンでは、今日の雨は天からの祝福の雨ととらえます。あらゆるものから祝福されているのです」と言われました。大事な行事のときに雨に降られると、いつもこのことを思い出します。

市制施行より5年といえば、かなりの時間が経過したようですが、ゆっくり振り返ることなく、突っ走ってきたという感じがします。ひたすら走りましたが、それ以上に市民の皆さんが市制を施行したことで、地域に対する関心が高まり、積極的に関わることが多くなったのではないかと思います。町内会などが主体となったコミュニティカフェが開設されていますが、町のままでいたらこのような気運が芽生えなかったのではないかと思います。

この5年間に、国も人口減少を見据え「地方創生」ということを打ち出してきました。10年にわたる市の総合計画も今年、中間の折り返し地点にあり、見直しをいたします。おおむね順調に進んでいますが、さらに新しい観点や要素を後半の5年間に盛り込みながら、皆さんから選ばれるまち、住み心地いちばんのまちをめざして、着実に計画を進めていきます。

先月に献穀田での御抜穂式を終え、10月28日に皇居に献穀米を納める「献納式」に行っていました。残念ながら、前日に三笠宮殿下が薨去され、喪に服される天皇皇后両陛下にお会いすることはできませんでしたが、丹精こめて作ったお米を献穀者である千田さんご夫妻とご一緒にお届けすることができ、感慨深いものがありました。野々市で献穀田が選ばれ、宮中に献上できたことをとてもうれしく思います。

市制5周年を迎え、これといった式典はいたしませんでした。その代わりに記念事業として、各局のテレビ公開放送をいたしました。『新婚さん いらっしやい』、『NHKのど自慢』、そして来年3月には『なんでも鑑定団』を文化会館で収録する予定です。どの番組でも冒頭に野々市市のことを紹介していただき、全国に発信できればと思っています。

特に『NHKのど自慢』は、野々市からは2回目の放送となりました。大変長く続いている番組で、皆さんの心が和やかになります。昭和63年5月に、文化会館が落成した折、こけら落としもかねて公開生放送されました。その前日の土曜日、当時勤めていた会社を休み、予選に参加するも、みごとに落選。当日は、自宅で生放送を観ていました。この話しをすると、すかさず聞かれます「で、何を歌われたんですか」と。

『My Way(マイ ウェイ)』です。もちろん日本語だったのですが、選曲ミスだったのでしょうか。でも、今も一所懸命、信じた道を進んでいます。